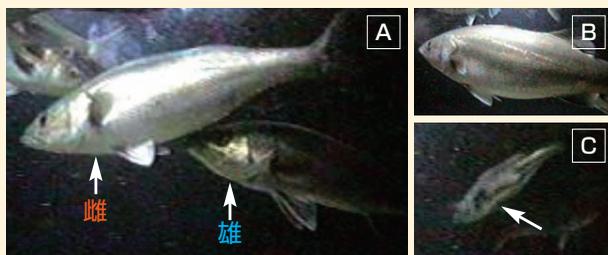


魚の繁殖生態(6)

スズキの繁殖行動をビデオカメラで観察しました。産卵は毎日ではなく、期間をあけて1カ月間に数回行われました。産卵日が近くなると、雌のお腹は急激に大きくなりました。産卵時刻は多くの場合16から18時の間で、それまで1尾の雌を1~3尾の雄が追尾していました。産卵行動は、雌が旋回遊泳しながら水槽上層で先に放卵し、次いで追尾している雄が放精するというものでした。放卵を終えた直後の雌の腹部が、大きくへこんでいる様子が確認されました。ここで紹介した内容の映像は、海生研ホームページでご覧になることができます。



A: 雄が雌の生殖孔を眺めるように追尾する様子、B: 放卵前の雌の様子、C: 放卵終了直後の雌の様子(矢印の先、腹部が大きくへこんでいます)

財団法人海洋生物環境研究所は、発電所の取放水等が海の環境やそこに生息する生物に与える影響を科学的に解明する中立的な調査研究機関として、農林水産省、経済産業省、環境省の共管のもと、昭和50年に設立されました。

これまで大規模発電所の取放水が生物に及ぼす影響の解明を中心に、食の安全・安心や海生生物の保護に係わる海洋環境中の微量化学物質や放射能の実態把握等の調査研究を国や民間からの委託をうけて実施しております。

海の豆知識 第29号

平成18年10月 発行

発行所

財団法人 海洋生物環境研究所

事務局 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 帝国書院ビル5階 ☎(03) 5210-5961
 中央研究所 〒299-5105 千葉県夷隅郡御宿町岩和田300 ☎(0470) 68-5111
 実証試験場 〒945-0017 新潟県柏崎市荒浜4-7-17 ☎(0257) 24-8300

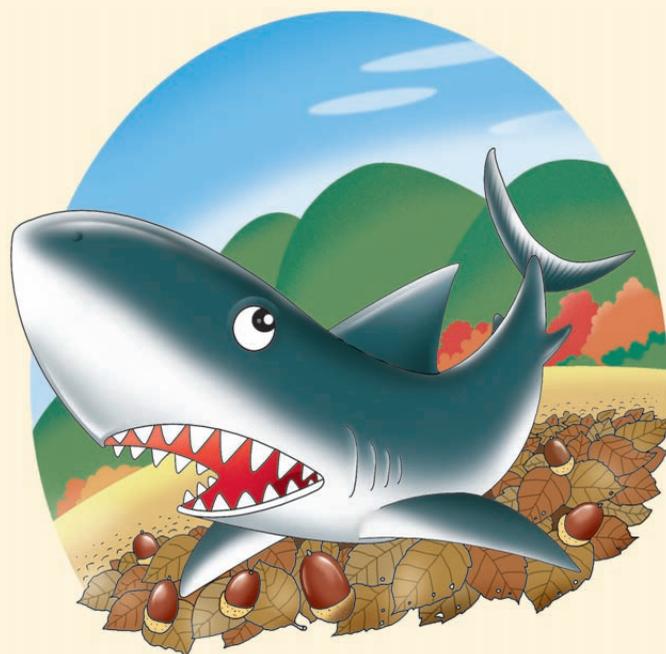
海の豆知識に関するお問い合わせは、事務局までお願いします。
 <ホームページ> <http://www.kaiseiken.or.jp/>

かいせいけん

海の豆知識

Vol.29

★★★ 魚のことわざ ★★★

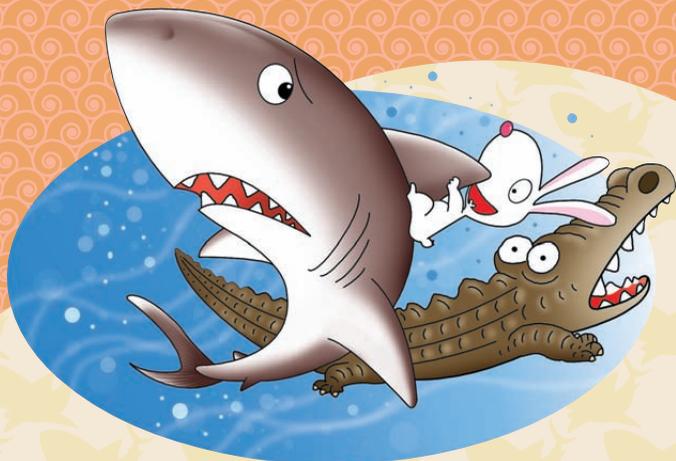


財団法人 海洋生物環境研究所

魚のことわざ

(その27)

——サメ——



海とその生物にまつわる^{ことわざ}諺や^{かくげん}格言についてお話ししましょう。今回のテーマはサメ(軟骨魚類サメ類)です。映画「ジョーズ」に出てくる人食い鮫を思い浮かべられる方もおられるかと思いますが、筋肉を刺身、湯引き、ステーキとして食べたり、蒲鉾原料としても優れています。また、鱭はフカヒレに、ビタミンAが豊富な肝臓は肝油や健康食品に、皮はわさび下ろし、財布などの革製品に利用されます。

サメの呼び名は地方によって異なり、「サメ」と呼ぶのは関東以北の地方が多く、関西では「フカ」、山陰地方、特に出雲地方では「ワニ」と呼びます。昔話「^{いんぱん}因幡の白兔」に出てくる「ワニ」は、爬虫類の^{つばね}鱉ではなく、サメのことを表現しています。

1

「^{さめ}鮫がないと^{しょうがつ}正月が^こ来ない」

死ぬと尿素の分解で生成されるアンモニアにより腐敗が抑制される鮫は、冷蔵装置無しに2週間程度鮮度を保つことができるため、冷蔵装置が普及していない時代における山間地の住民にとって、鮫はとても貴重な魚であり、正月料理には欠かせなかった。

東北地方ではサガンボと称して煮魚として賞味する。「鮫の煮ごどり」は、ゼラチン質でコラーゲンが豊富である。

2

「^{ななさらく}七皿^{さめくさ}食うて鮫臭い」

腹一杯食べた後で、^{なま}不味いと文句をいうことである。サメには独特のアンモニア臭があるところから、サメが引用されたものと思われる。

3

「^{おや}親に^に似た^{さめ}鮫の^こ子」

新潟地方の言葉。凡人の子はやはり凡人であるということ、才能や性格など何事も子は親に似るものであり、子は親の歩んだ道を行くものであるということのたとえ。自分や自分の身内についての謙遜した表現だから、他人に対しては用いない。「親に似た蛙の子」と同義語、「親に似た^{こぶ}蠅の子」(豊前宇佐地方の^{ひんげん}俚言)とか「親に似ぬ子は鬼子」ともいうから、現実には「^{たが}鷹が鷹を生む」ことはないであろう。

4

「^{ふか}鱭^ねほど寝る」

^{いびき}鼾をかいてよく寝ることのさま。「鱭のよう」、「^{くじら}鯨のよう」ともいう。当人はいい気持ちかも知れないが、はた迷惑なこと。

5

「^{ふか}鱭^{ねぐ}の寝食い」

「鱭ほど寝る」ということから、よく寝てよく食べることをいう。